



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2012. 02. 25
第 58 号

今年度の聖句 平和を実現する人は幸いである。 マタイによる福音書 5章9節

寄り添うことから

立野 泰博

日本福音ルーテル教会事務局長
広島女学院大学学校協力会会長、理事評議員

新しい年がやってきました。「あけましておめでとう」という言葉を重く感じる年明けでした。現在、石巻市にて東日本大震災救援で仮設支援をしています。昨年は、広島女学院同窓会の皆さまからの義捐金を預かり、福島にある桜の聖母学院に届けさせていただきました。心から感謝いたします。

広島女学院には娘たち2人が学んでいます。その関係で、キリスト教の牧師でもあり、学校協力会の会長、そして理事評議員の役をいただいています。長尾ひろみ学長の力強いリーダーシップのもと、協力会も新しく変革していく女学院のために一緒に走っています。とくに女性の視点、そして母親としての視点を持っておられる長尾学長と共に、広島女学院の新しい旅立ちを喜んでいます。

今回、東日本大震災救援活動の中でとくに心に刻んだことは「親の思い」でした。私たちは児童74名、教諭11名が津波で流された大川小学校の地域で仮設支援活動をしています。小学校の前を何度も通るたびに、学校は学びの場である以上に、子どもたちの命を預かっている場だと教えられます。その命を守り、育む責任があるとも教えられています。

慰霊碑には子どもを亡くされた親の手紙が置いてあります。「100日たったいまも、会いたくて、会いたくて、会いたくて・・・。」こんなに深い思いを親はもっています。「〇〇ちゃん、

あなたは一人では
ポニーテールでき
なかつたでしょう。
いま誰にやっても
らっているの」
「おかあさんと
一緒じゃないと



眠れないでしょう。一人で寒くないの」「手紙をもらったら返事を書くことは約束だったよね。夢にでてきて返事くださいね」と。愛する子どもたちを天におくった親たちの愛の深さを感じます。「お父さん、お母さんはまだ悲しくて歩けません。でも少しずつ少しずつ前に進んでいきますね」と。遺された親たちは、悲しみ苦しみを超えて前に進まねばなりません。その一步を踏み出していただけるように、寄り添うボランティアがいます。

私たちが教えられていることは「寄り添う」ということです。神様がどんなときも寄り添ってくださっているように、私たちが寄り添うことから始めます。「いつまでいてくれるの」「わすれないでね」という言葉を聞くたびに寄り添うことの大切さを教えられます。

広島女学院も命に寄り添う学校であってほしい。同窓会の皆さまも建学の精神に立って苦しむ悩む人たちに寄り添う人であるように願います。

2011年度 広島女学院同窓会東京支部 会計報告

2011年1月1日 ～ 2011年12月31日

収 入			支 出		
費 目	金 額	摘 要	費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	374,721		支部ニュース費	469,575	印刷代、送料、封筒代他
支部会費	784,000	複数年度納入を含む	役員会費	97,000	役員会会場費、交通費他
受取利息	82		支部活動費	28,810	クリスマス会
			通信事務費	70,375	通信費(支部ニュース費以外)他
			関東ブロック活動費	127,458	震災義援金、夏雲の集い、125周年を祝う会
			次年度繰越金	365,585	
合 計	1,158,803		合 計	1,158,803	

監査報告

広島女学院東京支部会計について監査の結果相違ありません。

2012年1月7日

会計監査

高井浩子 

2012年度 東京支部役員

支部長・編集委員	坂下 恵 (杉田) 文英 1
副支部長・会計	鈴木章子 (岩田) 高 19、文英 1
副支部長	瀧口京子 (白井) 高 23、文英 5
宗教委員	藤井幸子 (財満) 高 14
書記	滋野順子 (前埜) 高 19
役員	西山朋子 (佐々木) 高 22、文英 4
〃	佐藤美代子 (池田) 高 22、文日 4
〃	桜井悦子 (瀬川) 高 23、文英 5
〃	藤居阿紀子 (森) 高 25
会計監査	高井浩子 (高橋) 高 14、大英 14

今年度の企画・方針

- * 支部ニュース発行 (第 58、59、60 号)
- * 夏雲の集い (7/4・関東ブロック主催)
- * クリスマス会 (12 月)
- * 同窓会ホームページへの情報提供
- * 同期会の開催支援
- * 会費の納入に銀行口座への振込を併用
- * 同窓生の専門家による勉強会の開催



東京支部は1月から新年度に切り替わりました。昨年度まで役員として奉仕していただいた吉田綾子さんと田中富美子さんが退任され、新たに滋野順子さんと桜井悦子さんが加わって下さいました。役員会は毎月1回(第2火曜・10時～)。銀座教会で和気藹々とした集いを持っています。ご一緒に活動して頂ける方、歓迎です。ご連絡をお待ちしています。

2011年度 支部会費納入者 (2011年1月～12月末日納入分) 五十音順

藍口 直子	大塚 恵美	菊池 昭子	佐崎 さゆり	高橋 美和子	中村 美保子	平井 淑	深山 恵美子
秋山 信子	大西 敬子	菊池 純江	佐藤 芳子	高橋 紀久子	中村 由紀子	平田 香里	三好 忍
阿座上 絢子	大貫 恵子	木口 敬子	佐藤 美代	高橋 睦子	中森 純子	平野 さゆり	向井 淑子
阿部 恵子	大野 ゆかり	岸 悠紀子	佐藤 美代子	高橋 良子	永安 記代子	平山 礼子	宗 靖子
新井 節恵	大之木 都茂美	木住野 睦子	佐原 充子	高橋 和歌子	灘光 洋子	深江 弘子	村上 宏子
有川 陽子	大畑 登美子	北村 翠	澤 文華	高松 啓子	仁井 弘子	深川 忍	村木 時子
栗竹 敦子	大浜 久子	北村 真理子	滋野 順子	高山 澄子	西浦 弘子	深堀 里奈	村田 早苗
飯嶋 久美子	大林 朋子	木原 雅子	実川 久美子	瀧口 京子	西尾 操	福居 紀子	村田 愛
五十嵐 美和	大宮 璋子	木村 良子	児野 初日	田口 綾子	西沖 恵子	福島 幸江	村田 泰子
池田 瞳	大村 洋子	木村 純子	柴田 恵子	田口 万里子	西田 栄子	福田 容子	村松 紘子
池田 澄子	大森 悦子	木村 麻里子	島地 裕子	多久和 久美子	西本 佐和子	福武 照美	本原 幸
池田 潤子	大矢根 祐子	清井 よし	清水 富士子	武井 尚子	西本 サエ	福永 照子	百川 ゆう子
池田 文子	大藪 淳子	裕子	清水 静子	辰巳 愛子	西森 静子	福原 洋子	森川 道子
井坂 洋子	岡崎 かおり	響田 とみ子	清水 浩子	伊達 節子	西山 美枝子	藤居 阿紀子	森信 絹子
石井 弥生子	岡崎 智恵子	工藤 育江	庄司 順子	立石 恵子	西山 朋子	藤井 啓子	森脇 千嘉代
石田 秀子	岡崎 初美	国松 昌代	白石 裕子	田中 富美子	新田 由美子	藤井 幸子	諸井 タカ子
石田 史子	岡田 朋子	熊谷 幸枝	新城 香代子	田中 千代子	二宮 悠子	藤井 美加子	八木 イブキ
石原 恵子	岡田 尚子	黒田 景子	新庄 美鈴	谷口 朋子	沼田 宣子	藤井 裕子	柳原 禮子
石原 明子	岡野 妙子	黒田 育美	陣内 和子	玉川 三江子	野口 裕美	藤川 浩子	矢野 光代
石村 啓子	小川 元子	桑原 洋子	新原 由紀子	田村 栄子	野崎 美穂	藤川 順子	矢吹 日登美
石本 倫子	荻野 暁美	剣持 恵子	新保 とし子	田村 聡子	野尻 澄枝	富士縄 和子	山縣 芙美子
石山 都子	奥田 治美	小池 三恵子	末長 紀子	為政 幸子	野辺 英子	藤村 朱実	山口 泰子
磯貝 敏子	奥田 潮理	小池 明子	末政 香代子	千葉 ツネコ	野村 朋子	布施 晴美	山口 桂子
一井 愛子	奥富 良子	小泉 真理子	末松 幸代	千代崎 満子	野村 安子	部谷 弘子	山口 淳子
伊地知 明子	奥山 維子	河内 礼子	杉谷 登貴美	塚本 郁子	萩之内 理絵	星島 紀子	山崎 史子
市原 茂子	小沢 摩希子	香野 恵美子	鈴木 邦子	塚本 美知子	橋本 征子	堀ノ内 洋子	山田 玲子
伊藤 由美	小田 千尋	河本 佳子	鈴木 静子	辻 貴美枝	橋本 淳子	本田 洋子	山成 和子
伊藤 純子	越智 彌代	特手 成珠	鈴木 章子	筒井 暢子	長谷川 洋子	前田 史子	山本 理恵
伊藤 優子	越知 廣子	小西 博子	鈴木 智子	津村 昌子	長谷川 富美子	牧野 典子	吉岡 元子
伊藤 則子	鬼塚 敦子	小西 恵	鈴木 なるみ	鶴 京子	長谷川 佳寿子	正木 由美子	吉岡 典子
伊藤 幸美	尾畑 洋子	小林 悦子	鈴木 廣子	寺井 伊都子	長谷部 和子	増本 嘉子	吉川 珠江
稲瀬 多美	隠地 妙	小林 隆子	鈴木 真理子	畑 京子	畑 瑠子	松尾 みどり	吉澤 朋子
伊本 英子	葛西 淑子	是澤 紫津子	角田 芳子	寺島 寿子	服部 かほる	松岡 育子	吉田 綾子
入江 啓子	鹿志村 紀美枝	齊藤 寿美子	隅田 光子	土井 照子	服部 さち子	松岡 理乃	吉田 恵子
岩崎 道子	柏井 郁子	財満 信子	酢屋 園江	道面 葉子	花岡 久子	松谷 智子	吉田 洋子
岩波 澄子	柏木 惇	佐伯 紀久子	関 八重	戸倉 晴子	花岡 久子	松田 みづほ	吉田 慶子
上田 優子	勝部 真貴子	榎原 精子	關 理津子	内藤 郁子	花形 英子	松山 秋子	吉原 桂子
宇田川 聖子	加藤田 芳子	坂下 恵	仙田 麗子	中木 としみ	花田 三鈴	丸橋 禎子	吉村 暉子
内海 光恵	角谷 公子	坂本 千代美	田岡 匡子	長崎 綾子	塙 紀弥栄	三浦 啓子	米金 康子
梅園 昭子	上川 彩子	桜井 悦子	埜田 恵子	長島 倫子	馬場 久美子	水野 潔子	若山 頼子
遠藤 芳恵	川口 啓子	桜岡 理代	高井 浩子	中島 秀子	浜 治子	水野 章子	脇 美枝子
大崎 弘子	河島 ゆう	佐々木 朋子	高木 佳代子	中田 昌子	濱井 恵子	三田 久美子	脇 寿美恵
大下 博子	川鍋 清香	佐々木 留美江	高須 都子	長野 光恵	浜井 洋子	三谷 啓子	和田 美千子
大島 和子	河野 美季	佐々木 敦子	高須 順子	中原 順子	浜田 優子	南 博子	渡辺 芳子
大高 儀子	河野 由紀子	佐々木 永子	高取 多恵子	長久 政子	林 美子	宮 欽子	
大谷 恵美子	河辺 道代	佐々木 タカコ	高橋 亜弓	中丸 秀子	兵動 実千代	宮崎 佳代子	
大津賀 明子	菊川 智子	佐々木 典子	高橋 裕子	中村 妙子	日吉 洋子	宮野内 洋子	

2011年度の東京支部年会費の納入
ありがとうございました。

東京支部の年度は1月から12月までです。

2012年度の東京支部年会費
(2000円)の納入をお願いいたします

封筒の宛名シールに「*」印が付いている方は
2012年度の会費を納入済みです。
手違いで振替用紙が入っていた場合は
ご容赦ください。

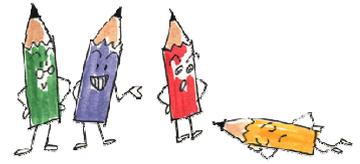
80歳以上の方は会費免除ですが
お気持ちがありましたら、よろしくお願ひいたします。

同封の郵便振替用紙の他に
銀行振込もご利用いただけます!

三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店
普通預金 0473771
広島女学院同窓会 東京支部

振り込みの際、
お名前後に電話番号を入れてください!

三菱東京UFJ銀行の
キャッシュカードをお持ちの方は、
コンビニ(セブン銀行、ローソン、E-net)の
ATMを利用すれば
平日の日中は振込手数料が無料です。



「ヒロシマ」を思う

灘光 洋子 (文英 8)



広島を離れ、関東で暮らすようになってから16年になろうとしている。それ以前も、留学先のアメリカと日本とを、結果として、数年毎に移動していたことを考慮すると、広島で暮

らしていた期間よりも外に出てからの方がはるかに長くなってしまった。先日、所用で区役所を訪れ、戸籍附表なるものを申請したのだが、それを見て啞然とした。平成になってから、ということは過去20年強の間に、日本内外を含め、なんと10回近くも引っ越しをしたことが記録されていた。口の悪い友人からは、「まるで犯罪者なみ」とからかわれてしまったが、まさにその通り。よくもこんなに動いたものだなあと、来し方をしみじみと思い返してみる。今は、そんな元気など逆さに振っても出ないことにため息をつきながら。

関東に来たのは、就職先があったから。ちょうどPh.D. 取得後の進路を考えていた時、異文化コミュニケーション領域の教員を必要とする学科を新設したばかりの大学から声がかかり、アメリカからの帰国を決めた。その後、東京の大学に移籍し、さらに違う大学に移り、現在に至る。まるで、履歴書を書いているような気分になってきたが、私なんぞの人生を語るのが本稿の目的では全くない。最近、広島を思うことがよくあり、そのことについて少しツブヤいてみたい。

広島の実家にはよく帰る。父と奥さん（母は既にこの世にいない）が住む広島港近くの家は、その姿こそ形を変えたが、場所は子供時代からそのままだ。

広島が近づき、新幹線の車内で馴染みのあるアクセントを耳にすると、ああ家に帰るんだと思い、駅に着き、宇品までの道すがら、景色を眺めながらほ〜っと深呼吸する。落ち着くのだ。

2011年を振り返る。仕事でアメリカに着いた3月10日、ちょうどその日に、日本ではあの東日本大震災が起きた。翌日、現地でのテレビに釘付けとなった。既にメルtdownという言葉が飛びかい、津波による惨状が繰り返し画面に流れ、日本への連絡は一向につかないまま、暗澹たる気持ちを抱えて過ごした数日間。

その旅は、エノラ・ゲイを見るのが目的だった。ワシントン D.C. 郊外にある国立航空宇宙博物館別館に陳列されたその B-29 航空機をどうしても見たかったのだ。（ちなみに、計画されたエノラ・ゲイの歴史的任務をテーマとする展示会が政治的圧力により中止に追い込まれたのは、戦後終結50周年にあたる1995年のことである。）原爆の輸送と投下を可能にしたエノラ・ゲイは様々な航空機の一つとして、その銀色の機体を輝かせていた。近づき、そのコックピットを覗き込んだ。乗務員はどのような座席に座っていたのか、地上を見下ろしたのだろうか、どのような気持ちだったのだろうかと思いながら。



エノラ・ゲイ

父方の祖父、叔母は原爆によって死亡した。長く同居していた祖母は被爆の痛みを体に刻み込んでいた。暫くそこにたずみ、歴史という観点だけでなく、私自身に少なからず関わるその存在に初めて対面したのが2011年3月だった。

8月、久しぶりに広島平和記念資料館を訪ねた。多くの訪問者と一緒に、折り重なるようにして展示や説明文を改めて見た。じっくり読むには、あまりに混雑していたが、過去の記憶伝承というだけでなく、核拡散防止の視点から未来へのメッセージも盛り込まれ、日本国籍以外の被爆者にも言及するなど、多角的な展示となっていたように思う。また、以前は見かけなかった説明員の方々がおられた。語り部の方々は高齢化が進んでいるという。一方で、これまで口を閉ざしてきた人たちが体験を語り始めたとも聞く。(祖母が体験を話してくれることはついになかった。) 記念館での説明員の方達は年齢からして直接体験者ではないと推測するが、それぞれの立場に引きつけて考え、過去の記憶を語り継ぐという試みに、対話による伝承の可能性をみる。

博物館にしても記念館にしても、公の展示にはいわゆる「御上」がお墨付きを与え浸透させようとする歴史観が如実に反映する。マクロの視点で伝承しようとする過去の記憶がこのような展示にあるとするなら、漫画『夕凧の街 桜の国』(この史代作)はミクロの視点で描かれた個人史と言えるかもしれ

ない。被爆した家族2～3代に渡るこの物語に出会ったのは数年前のことだ。同じく東京で暮らす弟から「読んでみて、僕たちもヒロシマの子だから」と手渡されたのである。この氏が後に出された『この世界の片隅に』は昨年の夏にテレビでドラマ化されたので、ご存知の方もいらっしゃるだろう。『夕凧の街』も『この世界』も、広島を舞台に、誰を責めるでもなく、静かな余韻を残して終わる。



「夕凧の街 桜の国」より

これまで「ヒロシマ」を避けてきたわけではない、と思う。が、故郷というだけでなく、ヒロシマの子という気持ちでこの地を見始めたのは最近のことかもしれない。今年の春は、パール・ハーバーを、これも初めて訪問することになっている。

(立教大学 異文化コミュニケーション学部 教授)

「夏の会」の女優たちによる朗読

「夏の雲は忘れない」

～ヒロシマ・ナガサキ 1945年～

出演:高田敏江、長内美那子、柳川慶子、ほか3名

2012年7月4日(水) 19:00～20:30 (開場 18:30)

タワーホール船堀 3F 大ホール

船堀駅前北口 (江戸川区船堀 4-1-1 TEL03-5676-2211)

2500円(大人)、1000円(小・中・高)・全席自由

チケット発売開始 2012年4月1日

主催:夏の雲は忘れない実行委員会 in 江戸川区 (事務局 TEL 03-3674-2505)

原爆によって父母を亡くした子供、
子供を亡くした両親の書き残した手記を
女優たちが朗読します。
あの日のことを多くの人に伝えたい。
六十七年目の夏。今年も
女優たちの舞台がやってきます。



東京支部クリスマス会

昨年12月3日(土)に銀座教会5階“ぶどう”にて東京支部のクリスマス会を行いました。

今回は、宗教委員の藤井幸子さん(財満/高14)に開会礼拝でのお祈りをお願いしていましたが、



全員で聖書(マタイによる福音書1:18-25など)を音読できるように準備をして下さり、石打の刑を覚悟で受胎告知を受け入れたマリアの純粋な信仰について、また、処女の懐妊という不可解な出来事は、これこそ神のなせる業であると考えると納得が行くこと、また、クリスマスはプレゼントのための日ではなく人間の罪の身代わりになって下さったイエス・キリストのお誕生日なのだという事を再確認したい等、ご自分の経験も交えて溢れる笑顔でお話いただきました。

最後に「広島女学院同窓生の歌」と校歌を歌ってお開きとしました。

「広島女学院同窓生の歌—どんなに時が流れても」は、井野口慧子さん(吉岡/高14)の作詩で、ゲーンズ先生のことが歌われています。同窓会のホームページでクワイヤ・アイリスの演奏をお聴きいただけます。



雨模様の寒い日でしたが、高女52回から高校46、49回生まで22名の参加をいただき、いつもお顔を見せて下さる方、初めての方、千葉支部の方、そして4歳の坊やもご一緒に、心温まる集いとなりました。



役員手作りのクッキー、寄付していただいたカードなどのプレゼントもありました。

当日いただいた献金17,000円は日本基督教団 隠退教職ホーム「にじのいえ信愛荘」(青梅市)へ東京

その後、中島秀子さん(田中/高17)のピアノ伴奏で懐かしいクリスマスの讃美歌をたくさん歌い、お一人ずつ近況もお聞きできて、同窓生ならではの絆がより強まったように思えました。

支部の名前で献金し、感謝のメッセージをいただいたことをご報告いたします。

坂下 恵(杉田/文英1)



「寒中俳句」

白井京子（現・瀧口）高23、文英5

いやあ、今年は寒い、本当に寒い。寒の入り、寒中などの言葉は、東京では、実感が伴わないような年もあるが、この冬は、寒さが身に沁みて、沢山、寒中の俳句が出来た。

まだ少し湯気の立ちしを寒施行 白井薔薇

（寒施行・・・餌の少ない寒中に動物のために林や野原に餌を置いておくこと。）

年末は大田区のうちあたりでも夜回りをしてくれる。町内会の係の男性が、二、三人で組んで拍子木を打ちながら、「火の用心」を連呼する。うちの前は遊歩道になっていて、声も拍子木もよく響く。ああ、今夜は、いい声の人だわなどと家の中でぬくぬくしながら聞いている。

寒柝や一人が若き住き声で 薔薇

（寒柝・・・冬の夜、火の用心や夜番のため町内を拍子木や太鼓を打って回る。その音を寒柝という。）

句会と一口に言っても、色んなやり方がある。あらかじめ出されている兼題を使って、家で作ってくるやり方、当季雑詠といって、その時期の季語を使って、兼題なしで自由に作ってくるというやり方、参加者の誰かが持ってきた土産や花など、そこにある物で作る即吟、嘯目。また、外で待ち合わせをして、皆で名所旧跡、花見、祭り、市場など、色んな所に出掛けて、その日、見た物をその場で作る吟行など。句会は、どれも楽しいが、私は特に吟行が好きだ。準備もなしに、泥縄な感じがいい。泥縄といっても、あらかじめ、その時期の季語を季語辞典で調べておいて、使えそうな季語を手帳に書き出しておくという人もいる。

■二月のある日、浅草演芸場大衆演劇見物吟行

芝居小屋の前には、「〇〇一座」と大きく書いてある幟がはためいている。

梅東風や芝居幟の巻き付いて 薔薇

話には聞いていたが、割り箸にお札をはさんで、鼻頂の役者さんの胸元に差し込むのだ。何枚かクリップで留めて差し込む人もいる。

春興や万札いやにきらきらと 薔薇

流し目に投げキス返す春芝居 〃

そして満を持して座長登場、いきなり照明の色が変わる。

座長には丸くピンクの春灯 薔薇

■二月のある日、池上梅園吟行

石段を競ひ登りて梅林 薔薇

弁当の二段重ねや梅屋敷 〃

■二月礼者

（正月に年始の挨拶に回れなかった人が二月に入って回礼をすること。）

二月礼者道に迷ふて来たと言ひ 薔薇

白居易の「北窓三友詩」に琴、酒、詩を三つの友というところがある。私のことだあ！音楽とお酒と俳句があれば、この先も楽しく生きていけそうだ。

投句をいただきました。

冬枯れの柿にしたしむ百舌ふた羽 西山朋子
（高22、文英4）

皆様からの投句をお待ちしています。

俳号 白井薔薇： 俳句結社「童子」同人、日本伝統俳句協会会員

テレビ東京「サブちゃん」と歌仲間」に出演中



2012 夏雲の集い

関東ブロック主催

～ 原爆死没者追悼礼拝 ～

2012年7月5日(木) 13:00～15:00

日本基督教団 横浜指路教会

関内駅 (JR根岸線、横浜市営地下鉄線) 下車 徒歩5分

礼拝・説教：横浜指路教会 藤掛順一牧師

関東ブロックでは、母校での350名の犠牲を追悼し平和に向き合う集会として、故山本知子先生の提唱による「夏雲の集い」を1988年から毎年開催してきました。

今年は横浜指路教会をお借りして行います。

詳細は次号でご案内しますが、どうぞ、今からご予約にお加えください。

横浜指路教会はヘボン式ローマ字で有名な宣教医 J. C. ヘボン (James Curtis Hepburn) 夫妻を中心とする人々によって設立され、ヘボンの母教会 "Shiloh Church" に因んで「指路教会」と命名されました。

「シロ」は旧約聖書において、「平和を来らす者 (メシヤ)」、および「古い時代の聖なる町」を意味するとのこと。

現在の教会堂は関東大震災の後に再建されたもので、外観はゴシック風。礼拝堂は白と赤を基調としたシンプルで明るい雰囲気。高い天井に響くパイプオルガンの音色を聴かせて頂けるのも楽しみです。



新役員からひとこと

滋野順子さん
(高19 / 前埜)

お手伝いを始めて、もう少しで1年になりますが、月1回の支部役員会が楽しみです。まだまだ微力ですが、皆様の足手まといにならないよう、努めてまいります。

桜井悦子さん
(高23・文英5 / 瀬川)

女学院のネットワークのさらなる発展を目指し、何もできない私ですが、皆様のお役にたちたいと思っております。よろしくお願いたします。

編集後記

- * ひと月に一回、役員会でみんなに会えるのが楽しみ。役員会の後は銀座を歩くのが楽しいです。(K)
- * 同窓生の専門家をお願いして勉強会を開きたいと思っています。お楽しみに。(M)
- * 振込用紙の通信欄を使って、近況やお知らせなどをご連絡ください。お待ちしております。(S)
- * 会費の納入に銀行振込もご利用いただけるようになりました。コンビニ ATM も便利です。(S)